



公務員試験合格者

国家公務員農林水産省総合職（技術系）内定
生命科学部応用植物科学科 4年

三浦 宗

習慣と計画が大事

国家公務員を志望した理由は、自分の学習を生かせる仕事に就いて、学びの多い生活をしたいと考えたからです。また、「第3回世界若者農業サミット」の日本代表になり、ベルギーで世界各国の若者と話す機会を得たことも、日本農業の将来を考える機会となり、農林水産省採用に向けて頑張る動機になりました。

公務員試験の対策として重要な点は3点ありました。1点目はスケジュール管理です。毎日4時間は勉強しようと決めて、朝8時から2時間は農学と数的処理を解き、5時間終了後の19時からは授業の復習に費やしました。作物学や園芸学など、授業で扱っていない単元は独学する必要があり、早めの対策で2016年内の終了を目指しました。

2点目はモチベーション管理です。やる気が低下してきたり、十分な睡眠をとり、勉強する場所をカフェなどに変えてリフレッシュするなど大事です。授業やイベントで時間を取られたり、体調不良や疲労で勉強効率が下がつたりすると、「今日も

勉強できなかつた」と落ち込みがちです。無理せず休むことが、結果的に効率的な勉強につながります。

3点目は情報収集です。就職活動のスケジュールと公務員試験のスケジュールは一部重複しているので、対策の優先度を考えてプランを練る必要があります。また、就職活動でのSPー対策やエントリーシート（ES）作成、公務員試験なら教養科目対策など、初めて取り組む内容が多くあります。キャリアセンターや就職関連サイトを確認しつつ、対策のための情報収集をしてください。

実は各種公務員試験の準備に加えて、一般企業への就職活動と教育実習を同時にを行う状態になり、大変でした。しかし、企業でも省庁でも面接やES提出があり、教職と公務員の一般教養は出題範囲が重なり、農学、英語、一般教養の学習は共通していましたため、対策の幅が広くなりすぎることはありませんでした。

分からないことは尋ねて、なるべく自分で不安を抱え込まないように対策をとつてください。